

(2) テスト画像

入力文書 6C/112

出力文書 6C/TEMP/102、6C/TEMP/104

審議概要

中国から、テスト画像のレポート BT.2245-8 に新たな 10 種類の 7680 × 4320/50/P、4:4:4、12-bit UHD TV 画像の情報を追加する提案があった(6C/112)。提案内容に基づき、画像のタイトルと内容、頒布フォーマット等の情報を追加した改訂案を作成した(6C/TEMP/104、6C/TEMP/102)。

(3) カラーメトリ

入力文書 6C/86 An.2

出力文書 無し

審議概要

レポート BT.2380「テレビ測色法の要素」の Annex A に CIE で審議中の CAM16 を「新しい色の見えモデル」として追記するレポート改訂草案が、この 3 年間継続検討とされてきた(6C/86 An.2)。CIE で CAM16 を記載した技術文書が承認に至らず、発行時期も未定との情報がもたらされたことからレポート改訂を取りやめ、将来、CAM16 が発行された際に再検討することとした。

(4) 放送チェーンの運用中モニタリング

入力文書 6C/86 An.9、6C/115

出力文書 6C/TEMP/101、6C/TEMP/103

審議概要

前回会合において、放送チェーンの運用中の監視の要求条件に関する勧告 BT.1790 の内容を見直した改訂草案に向けた作業文書を作成し(6C/86 An.6)、この内容や関連する参照文書を検討するコレスポネンスグループ(CG-BT1790 Revision)を設置した。

今回、CG-BT1790 Revision より、「運用手順」と無関係の運用上の補足情報やオプションを提供する参照文書を削除し、モニタリングのポイントや目的、手法、評価軸、信号の許容範囲などを明確化する勧告改訂草案が提案された(6C/115)。本提案を基に、勧告改訂草案を作成した(6C/TEMP/101)。本勧告と類似の勧告 ITU-T J.243 を発行する ITU-T SG12、および WP6A と WP6B に改訂草案を送付し、意見照会するリエゾン文書を作成した(6C/TEMP/103)。

2.3 HDR (SWG-6C-3)

2 回の SWG-6C-3 会合を開き、12 件(RG-24 活動報告の 4 件の Annex を含む)の入力文書を審議し、4 件の TEMP 文書を出力した。

(1) HDR-TV の背景技術

入力文書 6C/119

出力文書 6C/TEMP/97

審議概要

HDR-TV の背景技術に関するレポート BT.2390-9 の参照文書[14]が[13]のコピーとなっていた誤記やこの参照文書の参照箇所の訂正がラポータグループ(RG-24)から提案された(6C/119)。この提案に基づき、レポート改訂案を作成した(6C/TEMP97)。

(2) HDR-TV 番組制作の運用指針

入力文書 6C/111、6C/119、6C/119 An.1

出力文書 6C/TEMP/105

審議概要

RG-24 から、HDR-TV 番組制作の運用ガイダンスのレポート BT.2408-4 の 7 章に”Camera “Painting”というセクションを設け、特定の種類のライブコンテンツ制作においてパンチのある色彩豊かな見た目の映像を作るためにカメラ色調整が重要となる場合があるとの記載を追加する提案があった(6C/119、6C/119 An.1)。

日本から、提案文書の最終パラグラフはレポート BT.2390-9 の 6.5 節に記載されている OOTF 補正であり、camera painting との関係が不明確であること、また、HLG の基準 OOTF ではなくオプションである RGB OOTF を推奨しているかのような誤解を与える可能性があるため、最終パラグラフの削除を求めたほか、ライブカメラ運用時のアイリス調整等を意味する shading や racking と camera painting との違いの明確化が必要であると指摘した。提案元の BBC は、HDR カメラにペインティング調整を行っても基準 OOTF の手前でシーン参照型変換を適用すると SDR カメラとの良いマッチングが得られたと説明した。最終パラグラフを見直すために一旦削除し、RG-24 で継続検討することとし、レポート改訂草案に向けた作業文書を作成した(6C/TEMP/105)。

中国から、4K/8K UHD HLG/50/p と HD SDR/50/i の同時制作の経験から得られた知見や工夫に関する情報と J_{zazbz} 色空間を利用した肌トーン分析に関する情報をレポート BT.2408 に追加する提案があった(6C/111)。当初、基準白レベルを HLG75%で運用していたが、4K は暗いという視聴者からの評価があったため HLG 77%に変更し、その後、HLG79%に変更し、HDR と SDR のマッチングを 75%HLG ⇄ 90%SDR (79%HLG ⇄ 100%SDR に相当)に変更したこと、ニーポイントを 90%SDR に設定することで SDR でのシェーディングがやり易くなることが説明された。レポート BT.2408 は最適で一貫した HDR の利用を確実にするための運用ガイダンスを記載しており、一経験事例が記載されることに対する懸念が示され、RG-24 で継続検討することとした。

(3) 知覚的明るさの測定基準

入力文書 6C/86 An.3、6C/86 An.10、6C/120

出力文書 6C/TEMP/106、6C/TEMP/107

審議概要

新勧告草案 BT.[MIL]「HDR-TV の明るさの監視と管理のための客観測定アルゴリズム」(6C/86 An.3)に記載されている MIL、DMIL、TMIL の3つの指標のうち、DMIL に代わる指標として、MIL と TMIL を基に人の目の光への絶対的な反応 (Absolute Response)を表す指標が BBC から提案された(6C/120)。DMIL では番組間や番組内映像間の過度な明るさ変化が不快であるかどうかを一意に決定できないことが判明し、新たな指標を検討した結果、本提案に至ったとの説明があった。

DMIL のパートを Absolute Response に置き換え、指標の妥当性等の評価を要するため新勧告草案を作業文書に戻すこととした(6C/TEMP/106)。

新勧告 BT.[REQ-MIL]「平均映像レベルメーターの要求条件」に向けた作業文書(6C/86 An.10)は、同一内容のまま継続検討することとした(6C/TEMP/107)。

(4) ISO TC/42 からのリエゾン

入力文書 6C/102、6C/119 An.2、6C/119 Addendum 1

出力文書 6C/TEMP/98

審議概要

ISO/TC 42/JWG 23 (joint with ISO/TC 130, and CIE)が、新プロジェクト文書 ISO/NP TS 22028-5 「写真とグラフィック技術—デジタル画像の保存と処理、交換のための拡張色エンコーディング—Part:5 静止画の HDR・広色域エンコーディング」を作成中であることを知らせるリエゾン文書が入力された(6C/102)。また、このリエゾン文書に対し関心を示すとともに文書の提供を求める返信案が RG-24 から入力された(6C/119 An.2)。ISO/TC 42 で検討中のドラフト文書が RG-24 と ISO/TC 42 の双方に参加するメンバーから RG-24 議長宛てに送付されたことを知らせる追補文書が入力された(6C/119 Addendum 1)。

ISO/TC 42 から提供された文書を RG-24 で検討することは適切であるとの合意が得られ、関心のあるメンバーに ISO/TC 42 アドホックグループへの参加が呼びかけられた。RG-24 の提案を基に、本件への関心を示すとともに継続的な連携を求めるリエゾン文書を作成した(6C/TEMP/98)。

(5) RG-24

入力文書 6C/86 An.17

出力文書 6C/TEMP/99

審議概要

RG-24 の付託事項に、中国提案(6C/111)に報告されている HDR ライブ制作の経験から得られたことを検討することを追加し、RG-24 の活動を継続することとした

(6C/TEMP/99)。

2.4 AI および AIAV システム (SWG 6C-4)

3 回の SWG 6C-4 会合を開き、8 件の入力文書を審議し、6 件の TEMP 文書を出した。

(1) 先進的没入型・体感メディアシステム(AISM)

入力文書 6C/92、6C/109

出力文書 6C/TEMP/123、6C/TEMP/126

審議概要

日本から、先進的没入型・体感メディアシステムのユースケース集のレポート BT.2420-2 に、日本の放送局における没入型コンテンツや AR、VR コンテンツ制作の取り組み事例を追記・更新するとともに、事例紹介のセクション構成を変更し、外部 web サイトへの古いリンクを削除・更新するレポート改訂案を入力した(6C/109)。日本から以下の事例を提案した。

- (1) 横長大画面表示用 10Kx2K コンテンツ
- (2) フレキシブル OLED を用いた没入型 VR ディスプレイ
- (3) パノラマ写真からの VR コンテンツ制作
- (4) 複数オブジェクトに対応した、テレビと同期した自由視点 AR
- (5) スマホ向けポリュメトリック 3D コンテンツ配信
- (6) 手指関節の動きと感情を可視化した AR アプリ
- (7) スポーツ番組用触覚提示システム

この提案に基づき、エディトリアルな修正を加えてレポート改訂案を作成した(6C/TEMP/123)。

ITU-T SG16 から、インタラクティブ没入型サービスの要求条件の勧告作成に向けた新しい作業項目 ITU-T H.IIS-REQTS に関するリエゾン文書が入力された(6C/92)。ライブ型のサービスを想定した勧告案であり、配信、同期、サービス品質の要件など WP6C の研究に関連があると認識され、レポート BT.2420 改訂案を添付したリエゾン文書を作成した(6C/TEMP/126)。

(2) 人工知能(AI)

入力文書 6C/90、6C/99、6C/110

出力文書 6C/TEMP/124、6C/TEMP/125、6C/TEMP/127

審議概要

日本から、番組制作・交換のための人工知能(AI)システムのレポート BT.2447 に、日本の野球中継番組で AI を活用した自動投球分析の事例を追記するレポート改訂案を入力した(6C/110)。4 章のタイトルを Automated content creation から Automated programme production (番組制作の自動化)に変更し、日本提案を 4.10 節として追加し、エディトリアルな修正を加えてレポート改訂案を作成した(6C/TEMP/124)。

ITU-T SG13 が作成している AI 標準化ロードマップの補遺 ITU-T Y.sup.aisr に対し、ITU-T SG9 および SG20 における進捗情報を提供するリエゾン文書が入力された(6C/90、6C/99)。ITU-T SG9 および SG20 のそれぞれに謝意を示し、レポート BT.2447 改訂案について知らせるリエゾン文書を作成した(6C/TEMP/125、6C/TEMP/127)。

2.5 その他 (SWG-6C-5)

4 回の SWG-6C-5 会合を開き、17 件の入力文書を審議し、6 件の TEMP 文書を出した。

(1) 将来の放送のビジョン

入力文書 6C/101、6C/104、6C/105、6C/122

出力文書 6C/TEMP/133 Rev.1

審議概要

SG6 が提案した 2 つの ITU-R 決議 70 と 71 が RA-19 で採択されたことを踏まえ、EBU から、BTF グループが作成した報告に基づき、新レポート ITU-R BS/BT.[Vision]に向けた作業文書「将来の放送のビジョン」が提案された(6C/101)。UK から、Ofcom のオブジェクトベースメディア報告(6C/104)が入力された。WP6C 議長から、これらの寄与文書を踏まえて放送の将来に関する検討を SG6 全体で行うために、「将来の放送のビジョン」の新レポート案を作成することを付託事項とし、SG6 が共同ラポータ、ラポータグループ、またはコレスポネンスグループを指名/設置する提案があった(6C/105)。WP6A から、これらの寄与を検討した結果、共同ラポータ、ラポータグループ、またはコレスポネンスグループの指名/設置に賛同するとともに、作業形態は問わないが共同議長候補として David Hemmingway 氏を推薦するとのリエゾン文書が入力された(6C/122)。

SG6 に各 WP の代表者が共同議長を務めるラポータグループを設置することを提案するとともに、WP6C の共同議長候補を Andy Qusted 氏(EBU)としたことを知らせ、WP6B における共同議長候補者含む最終案を WP6B から SG6 に提案することを要請するリエゾン文書を作成した(6C/TEMP/133 Rev.1)。

(2) エネルギー消費に配慮した放送システム

入力文書 6C/86 An.11、6C/86 An.12、6C/86 An.20、6C/98、6C/116、6C/116 An.1、6C/116 An.2、6C/123

出力文書 6C/TEMP/128、6C/TEMP/130、6C/TEMP/131

審議概要

前回会合において、WP6C の所掌範囲における放送システムのエネルギー消費に関する調査を行う共同ラポータからの提案に基づき、新研究課題草案 ITU-R[EABS]/6「エネルギーに配慮した放送システム」に向けた作業文書(6C/86 An.11)と、新レポート草案 ITU-R[ENERGY]「放送におけるエネルギー消費」に向けた作業文書(6C/86 An.12)を作成した。

今回、WP6C だけでなく SG6 の 3 つの WP が研究する研究課題とするため、新研究課題草案に向けた作業文書の改訂案(6C/116 An.1)と、その内容確認を WP6A と WP6B に依頼するリエゾン文書案(6C/116 An.2)が共同ラポータから提案された。

新研究課題草案作業文書を検討し、considering や decides を整理・明確化した新研究課題草案を作成した(6C/TEMP/128)。研究項目として、放送技術がエネルギー消費に与える直接的な影響、放送に使用される外部サービス(クラウドサービスなど)の使用がエネルギー消費に与える間接的な影響、直接的／間接的影響を定量化する指標、SDGs に寄与するためにいかにして放送をよりエネルギー効率の良いものにするか、の 4 項目を上げた。この新研究課題草案を WP6A および WP6B に送付して意見を求めるためにリエゾン文書を作成した(6C/TEMP/130)。

これまで共同ラポータによる検討を進めてきたが、新研究課題と新レポート ITU-R[ENERGY]の作成などを付託事項とするラポータグループを設置することとした(6C/TEMP/131)。共同議長には、これまで共同ラポータを務めてきた Erik Reinhard 氏(フランス)と Hemini Hehta 氏(EBU)を指名した。

エネルギーや環境に関連する入力文書として、ITU-T SG5 から、環境、エネルギー効率、循環経済、新たな研究領域に関するリエゾン文書(6C/98)が、WP6A から、このリエゾン文書に対する謝意とレポート BT.2385 改訂作業を知らせるリエゾン文書(6C/123)が入力された。

(3) アクセス性改善(IRG-AVA)

入力文書 6C/93、6C/94、6C/95、6C/96、6C/97、6C/103、6C/113

出力文書 6C/TEMP/129、6C/TEMP/132

審議概要

IRG-AVA から、付託事項に技術動向を反映するため、「オーディオビジュアル」の定義を拡大し、音声、映像、さらに触覚などの感覚に基づく技術を含めることを追記したほか、活動期間を ITU-T と ITU-R の研究会期末までとし、新研究会期の最初の SG 会合での承認により延長できるという内容に修正する改訂案が入力された(6C/93)。ITU-T SG9 からはこの改訂案に賛成する旨のリエゾン文書が入力されたが(6C/95)、IRG-AVA の共同議長でもある WP6C 議長から、ITU-R と ITU-T の研究会期が異なっていることを考慮し、各 SG の研究会期の終了時(または任意の時期)に、他の 2 つの SG に IRG-AVA を脱退する旨の意思を示さない限り、IRG-AVA への参加を希望するものとみなすという内容に変更することが提案された(6C/103)。本提案に基づく付託事項改訂案を、ITU-R SG6 から ITU-T SG9 と ITU-T SG16、IRG-AVA に送付するリエゾン文書案を作成した(6C/TEMP/132)。

IRG-AVA から、異なる範囲の能力を持つ人々のためにユーザインタフェースをパーソナライズするための共通ユーザプロファイルのフォーマットを規定することを意図した勧告草案 ITU-T J.acc-us-prof「オーディオビジュアルコンテンツに関する共通ユーザプロファイル」に関するリエゾン文書が入力された(6C/94)。ITU-T SG9 から、本勧告案の範囲が ITU-T SG9 の所掌を超えていることから、ITU-T SG16 や ITU-R SG6 と連携して検討する考えが入力された(6C/96)。さらに、IRG-AVA から ITU-

T SG9 と SG16 の関係する研究課題の合同会合の結果、本勧告案を IRG-AVA で検討することが合意されたことが報告された(6C/113)。共通ユーザプロフィールに関連する WP6C での最近の研究として、アクセシブルなコンテンツ制作や先進的没入型・体感メディアシステム、番組制作・交換のための人工知能(AI)システムがあることをITU-T SG9とIRG-AVAに伝えるリエゾン文書を作成した(6C/TEMP/129)。

ITU-R SG9 から、自然災害リスク軽減と管理のために情報通信や AI を活用する研究に関する WP6C からのリエゾン返書として、災害警報には様々な能力の人々がアクセスできる必要性とともに、共通ユーザプロフィールが障がい者への情報のパーソナル化を目的としており、災害関連情報のパーソナル化も検討可能とのリエゾン文書が入力された(6C/97)。

2.6 ラポータ、ラポータグループ、コレスポndenシスグループ、セクター間ラポータグループ

(1) ラポータ

内容	ラポータ	
放送における人工知能(AI)の使用	Poppy CRUM(米)	継続
先進的音響システムの導入指針	Oliver WUEBBOLT(独) Christophe CHABANNE(米)	継続 (更新)
音響関連文書のレビュー	Andrew MASON(BBC) Scott NORCROSS(米)	新規

(2) ラポータグループ

内容	議長	
HDR-TV (RG-24)	Paul GARDINER(英)	継続 (更新)
ラウドネス測定アルゴリズム(RG-32)	共同議長: Scott NORCROSS(米) 大出訓史(日)	継続 (更新)
先進音響システム用 ADM レンダラー(RG-33)	David WOOD(EBU)	継続 (更新)
AIAV システム(RG-AIAV)	Poppy CRUM(米)	継続
エネルギーを考慮した放送	Erik REINHARD(仏) Hemini Mehta(EBU)	新規

(3) コレスポndenシグループ

内容	議長	
放送チェーン運用中のモニタリングの要求条件の勧告 BT.1790 の改訂と関連する映像・音声の客観品質評価法の見直し	Andy QUESTED (EBU)	終了

(4) セクター間ラポータグループ

内容	議長	
映像音声の品質評価 (IRG-AVQA)	共同議長: Chulhee LEE (韓)	継続
映像音声のメディアアクセシビリティ (IRG-AVA)	共同議長: Andy QUESTED (EBU)	継続

以上

表 1 日本からの出席者

氏 名	所 属
高橋 優実	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係長
伊地知 大輝	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係
西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所 フェロー
大出 訓史	日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部 上級研究員
小森 智康	日本放送協会 放送技術研究所 スマートプロダクション研究部 上級研究員
高橋 正樹	日本放送協会 放送技術研究所 スマートプロダクション研究部 上級研究員
河村 侑輝	日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部
甲斐 創	(一社)日本民間放送連盟 (日本テレビ放送網(株) 技術統括局 渉外グループ 専門副部長)
當山 俊一郎	(一社)日本民間放送連盟 (日本テレビ放送網(株) 技術統括局 放送実施部 主任)
河野 優子	(一社)日本民間放送連盟 (日本テレビ放送網(株) 技術統括局 放送実施部)
石原 友和	(一社)日本民間放送連盟 (株)テレビ朝日 技術局 設備センター 放送システム G)
保谷 和宏	(一社)日本民間放送連盟 (株)フジテレビジョン 技術局 技術開発部 副部長)
近藤 洋一	(一社)日本民間放送連盟 (株)TBSテレビ メディアテクノロジー局 技術管理部 担当局次長)

表 2 入力文書一覧(52 件)

入力文書 番号 (6C/)	提出元	題 名	審議 (SWG /Ad-Hoc)	処理文書 番号 (6C/TEMP/)
86 Rev.1	Chairman, WP 6C	Report of the meeting of Working Party 6C (15-19 March 2021, e-Meeting)	Plenary	Noted
An.1		Preliminary draft new Report ITU-R BS.[SOUNDTEST] - Sound test materials for advanced sound systems	SWG 1	108
An.2		Preliminary draft revision of Annex A "New colour appearance models" of the Report ITU-R BT.2380 - Television colorimetry elements	SWG 2	-
An.3		Preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[MIL] - An objective measurement algorithm for monitoring and managing the brightness of high dynamic range television	SWG 3	106
An.4		Working document toward a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.2051-2 - Advanced sound system for programme production	SWG 1	116
An.5		Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R BS.[IMP_AdvSS] - Implementation and use of Advanced Sound Systems in programme production and exchange	SWG 1	120
An.6		Working document toward a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.1770-4 - Algorithms to measure audio programme loudness and true-peak audio level	SWG 1	117
An.7		Working document toward a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.2127-0 - Audio Definition Model renderer for advanced sound systems	SWG 1	118
An.8		Working document toward a preliminary draft revision of Report ITU-R BS.2466-0 - Guidelines for the use of the ITU-R ADM Renderer	SWG 1	119
An.9		Working document toward a preliminary draft revision Recommendation ITU-R BT.1790 - Requirements for monitoring of broadcasting chains during operation	SWG 2	101
An.10		Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[REQ-MIL] - Requirements and applications for Mean Image Level meters	SWG 3	107
An.11		Working document towards preliminary draft new Question ITU-R [EABS]/6 - Energy Aware Broadcasting Systems	SWG 5	128
An.12		Working document towards draft new Report ITU-R BT.[ENERGY] - Energy Consumption in Broadcasting	SWG 5	-

入力文書 番号 (6C/)	提出元	題 名	審議 (SWG /Ad-Hoc)	処理文書 番号 (6C/TEMP/)
An.13		Establishment of Correspondence Group (CG-BT1790) - Revision of Recommendation ITU-R BT.1790 and review of documents related to Objective Video and Audio testing Methods	SWG 2	-
An.14		Continuation of Co-Rapporteurs to study implementations of Advanced Sound Systems with modified terms of reference	SWG 1	114
An.15		Continuation of the Rapporteur Group on loudness measurement algorithm (RG-32) with modified terms of reference	SWG 1	112
An.16		Continuation of the Rapporteur Group on the ADM renderer for advanced sound systems (RG-33) with modified Terms of Reference	SWG 1	113
An.17		Continuation of Rapporteur Group (RG-24) on HDR-TV	SWG 3	99
An.18		Continuation of the Rapporteur on the use of Artificial Intelligence (AI) in broadcasting with a modified Terms of Reference	SWG 4	-
An.19		Continuation of a Rapporteur Group on AIAV systems	SWG 4	-
An.20		Continuation of Co-Rapporteurs to Investigate Studies relating to Energy Consumption in Broadcasting Systems within the Scope of Working Party 6C	SWG 5	-
An.21		Updated workplan on loudness measurement algorithm for object-based and scene-based audio	SWG 1	121
An.22		Updated work plan for advanced sound system 2020-2023	SWG 1	111, 122
An.23		Reply liaison statement to Working Party 6B - Labelling of LFE in Recommendations ITU-R BS.2051 and ITU-R BS.2094	-	-
An.24		Liaison statement to International Organization for Standardization (ISO/IEC JTC1/SC29/WG6 - MPEG AUDIO) - Object- and scene-based audio content for loudness algorithm testing	-	-
An.25		Draft liaison to ITU Intersector Rapporteur Group Audiovisual Quality Assessment - Quality assessment of HEVC-coded UHD TV images to estimate required bit rates for UHD TV files for programme production and exchange (copy to ITU-R Working Party 6B in relation to Document 6B/81 and ITU-T SG12)	-	-

入力文書 番号 (6C/)	提出元	題 名	審議 (SWG /Ad-Hoc)	処理文書 番号 (6C/TEMP/)
An.26		Liaison statement to ITU-T Study Group 12 (copy to ITU-R Working Parties 6A and 6B for information)	-	-
An.27 Rev.1		Liaison statement to ITU-T Study Group 13 - Artificial Intelligence standardization Roadmap	-	-
An.28		Liaison statement to ITU-T Study Group 5 - Climate-focused activities	-	-
An.29		Liaison to ITU Intersector Rapporteur Group AudioVisual Media Accessibility (IRG-AVA)	-	-
An.30		Proposed reply liaison from ITU-R SG 6 to ITU-T SG 16 and CCT via WP 6B	-	-
87	ITU-D SG 1	Reply liaison statement from ITU-D SG1 to ITU-R WPs 1B, 6A and 6C on ITU-D Question 2/1 final Report "Strategies, policies, regulations and methods of migration and adoption of digital broadcasting and implementation of new services" and on ITU-D Question 4/1 final Report "Economic policies and methods of determining the costs of services related to national telecommunication/ICT"	Plenary	Noted
88	SG 6	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 16 and the CCV (copy to CCT and Working Party 6C) - Terms and definitions proposed by ITU-T Study Group 16	Plenary	Noted
89	ITU-D SG 2	Liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 5/2 to ITU-T Study Groups, ITU-R Study Groups, UN and External Organization on the output Report on Q5/2 - ITU-D Study Group 2 Question 5/2: Utilizing telecommunications/ICTs for disaster risk reduction and management	Plenary	Noted
90	ITU-T SG 9	Liaison statement on invitation to review Artificial Intelligence Standardization Roadmap and provide missing or updated information	SWG 4	125
91	ITU-T SG 16	Liaison statement on approval of new terms and definitions to ITU-R SG 6 and CCV	Plenary	Noted
92	ITU-T SG 16	Liaison statement on a new work item for requirements of interactive immersive services ITU-T H.IIS-REQTS	SWG 4	126
93	IRG-AVA	Liaison statement on suggested revision of the IRG-AVA Terms of Reference (ToR)	Plenary, SWG 5	129, 132
94	IRG-AVA	Liaison statement on draft Recommendation ITU-T J.acc-us-prof "Common user profile format for audiovisual content"	SWG 1, 2, 3, 4, 5	129
95	ITU-T SG 9	Liaison statement on suggested revision of the IRG-AVA Terms of Reference (ToR)	Plenary	132
96	ITU-T SG 9	Liaison statement on draft Recommendation ITU-T J.acc.us-prof - Common user profile format for audiovisual content	SWG 5	129

入力文書 番号 (6C/)	提出元	題 名	審議 (SWG /Ad-Hoc)	処理文書 番号 (6C/TEMP/)
97	ITU-T SG 9	Liaison statement on Working Party 6C contributions that may be informative to the studies of IRG-AVA on accessible disaster management systems	SWG 5	Noted
98	ITU-T SG 5	Liaison statement on work related to environment energy efficiency and the circular economy and new areas of study	SWG 5	Noted
99	ITU-T SG 20	Liaison statement on invitation to review Artificial Intelligence Standardization Roadmap and provide missing or updated information	SWG 4	127
100	International Organization for Standardization	Liaison statement to Working Party 6C on object and scene-based audio content for loudness algorithm testing	SWG 1	110
101	European Broadcasting Union	Consideration of a roadmap on the future of broadcasting	Plenary, SWG 1, 2, 3, 4, 5	133 Rev.1
102	International Organization for Standardization	Liaison letter to the ITU-R	SWG 3	98
103	Chairman, WP 6C	Clarification to the proposed revision of the ToR of the Intersector Rapporteur Group IRG-AVA	Plenary, SWG 5	129, 132
104	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	Consideration of a roadmap on the future of broadcasting - Ofcom Object based Media Report and Ofcom technology research	Plenary, SWG 5	133 Rev.1
105	Chairman, WP 6C	Suggested action for Study Group 6 and its Working Parties - Future of broadcasting	Plenary, SWG 5	133 Rev.1
106	Co-Chairmen, ITU-T IRG-AVQA	IRG-AVQA meeting Report (Stockholm, online)	SWG 2	Noted
107	Korea (Republic of)	Deep learning methods for no-reference video quality measurement	SWG 2, 4	Noted
108	Japan	Comments and proposals on issues of LFE channels	SWG 1	109, 116
109	Japan	Proposed draft revision of Report ITU-R BT.2420-2 - Collection of usage scenarios of advanced immersive sensory media systems	SWG 4	123
110	Japan	Proposed draft revision of Report ITU-R BT.2447-1 - Artificial intelligence systems for programme production and exchange	SWG 4	124
111	China (People's Republic of)	Proposed revision of Report ITU-R BT.2408-4 - Guidance for operational practices in HDR television production	SWG 3	99
112	China (People's Republic of)	Proposed revision of Report ITU-R BT.2245-8 - HDTV and UHDTV including HDR-TV test materials for assessment of picture quality	SWG 2	102, 104

入力文書 番号 (6C/)	提出元	題 名	審議 (SWG /Ad-Hoc)	処理文書 番号 (6C/TEMP/)
113	RG on Audiovisual Media Accessibility (IRG-AVA)	Liaison statement on draft ITU-T Recommendation J.acc-us prof "Common user profile format for audiovisual content"	SWG 5	Noted
114	Brazil (Federative Republic of)	Brazilian next generation digital terrestrial television (Information Document)	Plenary	Noted
115	CG ITU-R BT.1790 Rev.	Progress Report of CG-BT1790 on the revision of Recommendation ITU-R BT.1790	SWG 2	101
116	Co-Rapporteurs on Energy Aware Broadcasting	Report investigating studies relating to energy consumption in broadcasting systems within the Scope of Working Party 6C	SWG 5	128, 130
117	United States of America	Comments on proposed changes to the LFE channel in Recommendations ITU-R BS.2051 and BS.2127	SWG 1	116, 118
118	ITU-D SG 1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 2/1 to ITU-R Study Group 1, Working Party 1B, Study Group 6, Working Party 6A and Working Party 6C, and ITU-T SG9 and SG16 on ITU-D SG1 Question 2/1 for discussions and final Report - Strategies, policies, regulations and methods of migration and adoption of digital broadcasting and implementation of new services	Plenary	Noted
119	RG on HDR-TV (RG-24)	Progress Report on High Dynamic Range Television (HDR-TV)	SWG 3	97
An.1		Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2408-4 - Guidance for operational practices in HDR television production	SWG 3	105
An.2		Draft reply liaison statement to ISO/TC 42 - Photography and graphic technology - Extended colour encodings for digital image storage, manipulation and interchange - Part 5: High Dynamic Range and Wide Colour Gamut encoding for still images (HDR/WCG)	SWG 3	98
Add. 1		Addendum 1 to Progress Report on High Dynamic Range Television (HDR-TV)	SWG 3	-
120	British Broadcasting Corporation (BBC)	Using the Differential Mean Image Level (DMIL) as a metric for analysing brightness in HDR content further work	SWG 3	106
121	ITU-T SG 12	Liaison statement on new IRG-AVQA Co-Chair representing ITU-T SG12	SWG 2	100
122	WP 6A	Liaison statement to Working Party 6C - Suggested action for Study Group 6 and its Working Parties future of broadcasting	Plenary	Noted (133?)
123	WP 6A	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 5 (copy to ITU-R Working Party 6C and ITU-D Study Group 2 on Question 7/2) - Work related to environment energy efficiency and the circular economy and new areas of study	SWG 5	Noted

入力文書 番号 (6C/)	提出元	題 名	審議 (SWG /Ad-Hoc)	処理文書 番号 (6C/TEMP/)
124	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 6C/83, 6C/86 - 6C/124)	-	-
125	Director, BR	Final list of participants Working Party 6C (e-Meeting, 1-5 November 2021)	-	-

表 3 出力文書一覧(36 件)

出力文書 番号 TEMP/	題 名	文書作成 グループ	入力文書 番号 6C/	処理 (注参照)
97	Draft revision of Report ITU-R BT.2390-9 - High-dynamic range television for production and international programme exchange	SWG 3	119	DRRep SG6
98	Draft reply liaison statement to ISO/TC 42 - Photography and graphic technology - Extended colour encodings for digital image storage, manipulation and interchange - Part 5: High Dynamic Range and Wide Colour Gamut encoding for still images (HDR/WCG)	SWG 3	102, 119 An2	LS CR
99	Continuation of Rapporteur Group (RG 24) on HDR-TV	SWG 3	86 An17, 111	CR
100 Rev.1	Proposed draft liaison statement from ITU-R Study Group 6 to ITU-T Study Group 12 - Comments on new IRG-AVQA Co-Chair	SWG 2	121	LS CR SG6
101	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1790	SWG 2	115	PDRR CR
102	Supplement to proposed revision of Report ITU-R BT.2245-8 - HDTV and UHDTV including HDR-TV test materials for assessment of picture quality	SWG 2	112	DRRep SG6
103	Draft Liaison statement to ITU-T Study Group 12 and ITU-R Working Parties 6A and 6B	SWG 2	-	LS CR
104	Draft revision of Report ITU-R BT.2245-8 - HDTV and UHDTV including HDR-TV test materials for assessment of picture quality	SWG 2	112	DRRep SG6
105	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2408-4 - Guidance for operational practices in HDR television production	SWG 3	119 An1	WD CR
106	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[MIL] - An objective measurement algorithm for monitoring and managing the brightness of high dynamic range television	SWG 3	86 An3, 120	WD CR
107	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[REQ-MIL] - Requirements and applications for Mean Image Level meters	SWG 3	86 An10	WD CR
108	Draft new Report ITU-R BS.[SOUNDTEST] - Sound test materials for advanced sound systems	SWG 1	86 An1	DNRep SG6
109	Proposed draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.775 - Multichannel stereophonic sound system with and without accompanying picture	SWG 1	108	DERR SG6
110	Liaison statement to International Organization for Standardization (ISO/IEC JTC1/SC29/WG6 - MPEG AUDIO coding) - Object- and scene-based audio content for loudness algorithm testing	SWG 1	100	LS CR
111	Liaison statement to Working Party 6B - Updated workplan for advanced sound systems	SWG 1	86 An22	LS CR
112	Continuation of the Rapporteur Group on Loudness Measurement Algorithm (RG-32) with modified Terms of Reference	SWG 1	86 An15	CR
113	Continuation of the Rapporteur Group on the ADM renderer for advanced sound systems (RG-33) with modified Terms of Reference	SWG 1	86 An16	CR

出力文書 番号 TEMP/	題 名	文書作成 グループ	入力文書 番号 6C/	処理 (注参照)
114	Continuation of Co-Rapporteurs to study implementations of advanced sound systems with modified Terms of Reference	SWG 1	86 An14	CR
115	Appointment of Co-Rapporteurs to review ITU-R WP 6C text supporting advanced sound systems	SWG 1	R15 390 An10	CR
116	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.2051-2 - Advanced sound system for programme production	SWG 1	86 An4, 108, 117	PDRR CR
117	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.1770-4 - Algorithms to measure audio programme loudness and true-peak audio level	SWG 1	86 An6	WD CR
118	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.2127-0 - Audio Definition Model renderer for advanced sound systems	SWG 1	86 An7, 117	WD CR
119	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R BS.2466-0 - Guidelines for the use of the ITU-R ADM Renderer	SWG 1	86 An8	WD CR
120	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BS.[IMP_ADVSS] - Implementation and use of Advanced Sound Systems in programme production and exchange	SWG 1	86 An5	WD CR
121	Updated workplan on loudness measurement algorithm for object-based and scene-based audio	SWG 1	86 An21	WD CR
122	Updated workplan for advanced sound system 2020-2023	SWG 1	86 An22	WD CR
123	Draft revision of Report ITU-R BT.2420-2 - Collection of usage scenarios of advanced immersive sensory media systems	SWG 4	109	DRRep SG6
124	Draft revision of Report ITU-R BT.2447-1 - Artificial intelligence systems for programme production and exchange	SWG 4	110	DRRep SG6
125	Draft liaison statement to ITU-T Study Group 9 - Review Artificial Intelligence Standardization Roadmap and provide missing or updated information	SWG 4	90	LS CR
126	Draft liaison statement to ITU-T Study Group 16 - New work item for requirements of interactive immersive services ITU-T H.IIS-reqts	SWG 4	92	LS CR
127	Draft liaison statement to ITU-T Study Group 20 - Review Artificial Intelligence Standardisation Roadmap and provide missing or updated information	SWG 4	99	LS CR
128	[Working document towards a] preliminary draft new Question ITU-R [EABS]/6 - Energy Aware Broadcasting Systems	SWG 5	86 An11, 116 An1	WD CR
129	Proposed draft liaison statement to ITU-T Study Group 9 and IRG-AVA (copy to ITU-R Working Party 6B) on draft Recommendation ITU-T J.acc-us-prof - Common user profile format for audiovisual content - Draft Recommendation Common User Profile format for audiovisual content	SWG 5	93, 96, 103	LS CR
130	Draft liaison statement to ITU-R Working Parties 6A and 6B - [Working Document toward a] provisional draft new Question Energy Aware Broadcasting Systems (EABS)	SWG 5	116 116 An1,An2	LS CR

出力文書 番号 TEMP/	題 名	文書作成 グループ	入力文書 番号 6C/	処理 (注参照)
131	Establishment of a Rapporteur Group - Energy Aware Broadcasting (RG-EAB)	SWG 5	TEMP/68	CR
132	Proposed liaison statement from SG 6 to ITU-T SG 9, ITU-T SG 16 and IRG-AVA - Draft revision of the Terms of Reference for the ITU Intersector Rapporteur Group on Audiovisual Media Accessibility (IRG-AVA)	SWG 5	93, 95, 103	LS CR SG6
133 Rev.1	Proposed Liaison statement to WP 6B suggesting action for Study Group 6 and its Working Parties - Vision for the future of broadcasting	SWG 5	101, 104 105, 122	LS CR
<p>(注)</p> <p>DNR: 新勧告案 DRR: 勧告改訂案 DERR: エディトリアル勧告修正案 DRH: ハンドブック改訂案</p> <p>DNQ: 新研究課題案 DRQ: 研究課題改訂案 DEAQ: 研究課題エディトリアル修正案 DRO: オピニオン改訂案</p> <p>DSR: 勧告レポート廃止案 DSQ: 研究課題廃止案 DSH: ハンドブック廃止案</p> <p>DNRep: 新レポート案 DRRep: レポート改訂案</p> <p>PDNR: 新勧告草案 PDRR: 勧告改訂草案 PDNRep: 新レポート草案 PDRRep: レポート改訂草案</p> <p>PDNQ: 新研究課題草案 PDRQ: 研究課題改訂草案 PDSQ: 研究課題廃止草案</p> <p>WD: (勧告、レポート等に向けた)作業文書 CR: 議長報告に添付 LS: リエゾン文書送付</p> <p>SG6: SG6 に上程 Ref: 参考情報扱いの文書 Withdraw: 取り下げ</p>				